

## ■著者紹介

木下ちがや (きのした ちがや)

1971年 徳島県生まれ

政治学者

一橋大学社会学研究科博士課程単位取得退学 博士(社会学)

現在 工学院大学講師

明治学院大学国際平和研究所研究員

### 〔主要著作〕

『「社会を変えよう」といわれたら』大月書店、2019年

『ポピュリズムと「民意」の政治学—「3・11」後の民主主義』大月書店、2017年

『国家と治安—アメリカ治安法制と自由の歴史』青土社、2015年

『デモクラシープロジェクト—オキュパイ運動、民主主義、集合的想像力』(共訳)

航思社、2015年

『チョムスキーのアナキズム論』(単訳)明石書店、2009年

『後期近代の眩暈—排除から過剰包摂へ』(共訳)青土社、2008年

『新自由主義—その歴史的展開と現在』(共訳)作品社、2007年

### 著者 Twitter

こたつぬこ [twitter.com/sangituyama](https://twitter.com/sangituyama)